

令和8年度(2026年度)後期

授業公開講座 受講生募集

募集
期間

2026.

7.1_{wed} ~ 7.24_{fri}

募集要項

【募集期間】2026年7月1日（水）～7月24日（金）

※インターネットよりお申込みの場合：7月24日12時締切
※郵送または持参にてお申込みの場合：7月24日12時必着

講座毎に受講要件が異なりますので、講座概要（8ページ～）を必ずお読みいただき、お申し込みください。

受講資格

満18歳以上の方（2026年4月1日時点）

開講講座・日時

「講座一覧」（6ページ～）を参照してください。令和8年度（2026年度）後期は、2027年2月1日（月）まで授業が行われます。（最終授業日は、各講座の曜日で異なります。）カリキュラムの都合上、曜日・時限・教室が変更になる場合があります。講座の内容についてのお問い合わせはお受けしておりませんので、このパンフレットにてご確認をお願いします。

募集定員

講座毎に定員がありますので、「講座一覧」（6ページ～）をご確認ください。

申込方法

申込方法について（4ページ）をご確認ください。

受講者選考

「抽選」による場合と「理由書」による場合があります。「講座一覧」（6ページ～）および「講座概要」（8ページ～）に選考方法が記載してありますので、ご確認の上お申し込みください。

「抽選」の講座については、応募者多数の場合は厳正なる抽選により受講者を決定いたします。「理由書」の場合は、担当教員が理由書に基づき選考を行います。

なお、選考方法が「理由書」の講座を希望し、インターネットよりお申込みの場合は、お申込み後にお送りする受付完了メールを確認していただき、「理由書」を添付して返信してください。（Word、Excel等様式は問いませんが、氏名・講座名を必ず明記してください）「理由書」の提出をもって、正式な受付完了扱いとなりますので、ご注意ください。郵送または持参にてお申込みの場合は、パンフレット添付の申込書（17ページ）に記入してください。枠内に入りきらない場合は、別紙（様式任意）に記入し、申込書に添付してください。

結果の通知

9月上旬頃、申込者全員に選考結果を郵送によりお知らせします。

受講料（1 講座につき）

	週 1 回	週 2 回
後期	5,000 円	10,000 円

本学にて開催する受講手続・説明会にご参加いただき、現金で受講料をお支払いいただきます（下記参照）。お支払いいただいた受講料は返金できませんので、ご了承ください。（本学都合の場合は除く）

また、受講料の領収書の宛名は申込者ご本人となります。

受講手続・説明会

- ・9月14日（月） ① 10:30 ② 14:30
- ・9月15日（火） ① 10:30 ② 14:30

上記のいずれかの日程に必ずご参加ください。

受講に係る注意点などの説明のあと、受講料をお支払いいただき、受講票等をお渡しいたします。

受講にあたっての注意事項

1. 講座について

公開講座は、本来学生のための授業です。受講者に合わせた内容ではありません。

- ・講座での教員への質疑応答は、学生を優先します。
- ・講座中は教員の指示に従ってください。
- ・講座時間外での質問等には応じられません。
- ・受講者への「学力評価（試験）」及び「単位の認定」は行いません。

2. 受講について

- ・お申し込みいただいたご本人以外の方の受講はできません。
- ・同伴や見学は、お断りします。
- ・施設内は禁煙です。
- ・貴重品は必ず手元におき、盗難や紛失にはご注意ください。本学では責任は一切負いかねます。

※ご注意 【オンラインツールの利用について】

授業公開講座は対面の講座ではありますが、お申し込みいただく講座によっては、ご自身のパソコンやスマートフォンを使い、オンラインツールを利用して受講いただく場合があります。講座概要（8ページ〜）に利用するオンラインツールを記載していますので、ご自身で基本的な操作ができることをご確認の上、お申込みください。なお、受講中の操作方法についてのサポート対応、機器の貸出はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

〔利用予定のオンラインツール例〕

Eメール：ご自身が普段使用しておられるEメールアドレスを利用し、講師と直接やり取りしていただきます。

Microsoft Teams：本学が発行するMicrosoftアカウントで、動画視聴・資料閲覧、課題提出等を行うことができるアプリです。二要素認証を行うため、電話番号が必要です。

利用できる端末は、Windows11以降、macOS Sonoma 14.8以降となりますので、ご自身でお使いの端末をご確認ください。

3. 欠席について

授業を欠席する場合、教員及び地域・研究連携センターへの連絡は不要です。

4. 休講・補講について

自然災害や教員のやむを得ない事情により、講座の休講、補講を行う場合があります。

休講、補講、教室変更については、Webサイト「[地域ラブラトリー](#)」→MENU→講座・学び→定期講座のページでお知らせいたします。原則、個別に連絡はしませんので、講座の前には必ず確認して来学してください。

なお、緊急の場合はできる限り電話等によりお知らせいたしますが、ご連絡できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

5. テキスト代等その他の費用について

受講者が講座で使用するテキストの代金及び講座に係るその他の費用は、受講者負担となります。

6. 講座の中止について

学生の受講が少ないなどの理由により受講決定後に開講中止となる場合があります。

その場合は、お支払いいただいた受講料は返金いたします。

【熊本県立大学授業公開講座・受講料返金に関するポリシー】

1 大学の都合により対面による講座が中止となった場合に限り、未実施分の受講料（大学の定める返金基準に基づく金額）を返金します。なお講師の変更は、当該講座が継続する限り返金の対象外です。

2 受講者都合による途中解約は返金できません。

7. 受講の停止について

受講者による本学内での迷惑行為（妨害、大声、付きまとい、暴力など）が生じ、講座運営に支障をきたす等、大学の秩序を乱したと本学が判断した場合は、講座開始後であってもすべての授業公開講座の受講を停止させていただきます。なお、この場合、お支払いいただいた受講料は返金できません。またその後、本学の講座は受講できなくなります。

8. 損害賠償について

本学の施設、設備等を破損したときは、速やかに届け出てください。その損害を弁償していただくことがあります。

9. 個人情報について

お申し込みの際にご提供いただいた個人情報の取扱いについては、個人情報の保護に関する法律に基づいて適正に管理を行います。また、個人情報保護の観点から、他の受講者、教員、本学学生に関する連絡先等をお知らせできません。

10. 通学方法について

本学では、自家用車での入構規制を行っております。可能な限り公共交通機関をご利用ください。ただし、片道10km以上の方や、特段の理由によって自家用車を利用しなければならない方には、駐車を許可する場合があります。駐車には必ず「許可証」が必要ですので、受講手続きの際に申請してください。

11. 学内施設の利用について

受講者は、図書館及び売店や食堂をご利用いただけます。図書館をご利用の際は「受講票」が必要となります。

申込方法

募集期間内にインターネットもしくは郵送・持参にてお申込みください。

インターネットよりお申込みの場合

※令和8年(2026年)7月24日(金)12時締切

■**申込方法**：Webサイト「地域ラブラトリー」の募集ページに掲載しているお申込みフォームより必要事項をご入力の上、お申込みください。

Webサイト「地域ラブラトリー」→MENU→お知らせ
→授業公開講座受講生募集ページ

<https://puk-loveratory.com/news/27602/>



■**申込確認**：お申込み後、地域・研究連携センター(renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp)からEメールを返信します。
お申込みから1週間を過ぎてもEメールが届かない場合は、お申込みが正常に受付されていない可能性がありますので、下記問い合わせ先までご連絡ください。

郵送または持参にてお申込みの場合

※令和8年(2026年)7月24日(金)12時必着

■**申込方法**：パンフレット添付の申込書(17ページ)に必要事項をご記入の上、下記住所に郵送またはご持参ください。受講申込み1講座につき申込書1枚となります。

複数講座をお申込みの場合は、添付の申込書をコピー、もしくはWebサイト「地域ラブラトリー」の募集ページから申込書をダウンロードしてお使いください。



〒862-8502 (専用郵便番号のため、住所記載不要)

熊本市東区月出3-1-100

熊本県立大学 地域・研究連携センター「授業公開講座」担当 行

■**申込確認**：郵送の場合は郵便到着後、受付確認のメールまたはお電話をいたします。

お問い合わせ先

熊本県立大学 地域・研究連携センター

(学内図15番 グローカル棟1階)

TEL：096-321-6612

E-mail：renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp

受付時間

平日(月～金) 9:00～12:20

土日祝を除く 13:20～16:00

令和8年度授業公開講座時間割

※時間割の変更がある場合があるので、Web「地域ラブラトリー」→MENU→「講座・学び」より確認してください

曜日	月			火			水			木			金		
	番号	講座名	教員	番号	講座名	教員	番号	講座名	教員	番号	講座名	教員	番号	講座名	教員
1 時限 (8:40 ～ 10:10)	32	メディア情報処理	石橋 賢				3	英語学概論Ⅱ	村尾 治彦	8	中国語基礎－b【週2回】	岡村 真寿美	8	中国語基礎－b【週2回】	岡村 真寿美 辻原 万規彦
													22	建築環境工学Ⅱ	
2 時限 (10:20 ～ 11:50)	9	日本語史Ⅱ	米谷 隆史	19	Global HistoryⅡ	王 勁草				14	中世文学講読	鈴木 元	6	中国語発展Ⅱ a	山田 俊
				33	情報処理基礎演習－e	金井 貴				20	古典文化研究Ⅱ	徳岡 涼	7	中国語発展Ⅱ b	岡村 真寿美
3 時限 (12:50 ～ 14:20)	18	人間と芸術	永田 郁	29	現代社会と企業	山下 剛	4	Junior Seminar B－Ⅱ	萱嶋 崇	2	英語Ⅵ (d)	李世恩	1	英語Ⅵ (c)	李世恩
							5	English for Global BusinessⅣ	岡崎 紀久子	25	環境設備学	栗原 広祐			
4 時限 (14:30 ～ 16:00)	12	近代文学史	五島 慶一				10	現代日本語の分析	小川 晋史				11	近代地域文化研究	五島 慶一
	23	家庭機械・電気	齊藤 弘順				30	生命倫理と法	江崎 一朗	35	産業組織論	井田 貴志	17	日本文化論Ⅱ	羽鳥 隆英
5 時限 (16:10 ～ 17:40)	13	英語圏文学講読Ⅱ	難波 美和子							15	英語文学多読入門	吉田 希依	28	憲法Ⅱ	佐藤 雄一郎
										16	比較文学講義Ⅱ	難波 美和子			
										21	中国文化論Ⅱ	山田 俊			

(注) 番号は講座一覧講座番号です

令和 8 年度 授業公開講座一覧（後期）

番号	講座名	講師名	開始日/時限	募集人数	選考方法	受講料 (円)
英 語						
1	英語 VI (c)	李世恩	9月25日(金)/3時限	若干名	理由書	5,000
2	英語 VI (d)	李世恩	10月1日(木)/3時限	若干名	理由書	5,000
3	英語学概論Ⅱ	村尾治彦	9月30日(水)/1時限	若干名	理由書	5,000
4	Junior Seminar B - Ⅱ	萱嶋 崇	9月30日(水)/3時限	若干名	抽選	5,000
5	English for Global Business IV	岡崎 紀久子	9月30日(水)/3時限	若干名	理由書	5,000
中国語						
6	中国語発展Ⅱ a	山田 俊	9月25日(金)/2時限	5名まで	理由書	5,000
7	中国語発展Ⅱ b	岡村 真寿美	9月25日(金)/2時限	若干名	理由書	5,000
8	中国語基礎 - b【週2回】	岡村 真寿美	9月25日(金)/1時限 10月1日(木)/1時限	若干名	理由書	10,000
日本語						
9	日本語史Ⅱ	米谷 隆史	9月28日(月)/2時限	若干名	理由書	5,000
10	現代日本語の分析	小川 晋史	9月30日(水)/4時限	若干名	理由書	5,000
文 学						
11	近代地域文化研究	五島 慶一	9月25日(金)/4時限	若干名	理由書	5,000
12	近代文学史	五島 慶一	9月28日(月)/4時限	若干名	理由書	5,000
13	英語圏文学講読Ⅱ	難波 美和子	9月28日(月)/5時限	2名まで	理由書	5,000
14	中世文学講読	鈴木 元	10月1日(木)/2時限	若干名	理由書	5,000
15	英語文学多読入門	吉田 希依	10月1日(木)/5時限	若干名	理由書	5,000
16	比較文学講義Ⅱ	難波 美和子	10月1日(木)/5時限	2名まで	理由書	5,000
歴史・文化						
17	日本文化論Ⅱ	羽鳥 隆英	9月25日(金)/4時限	若干名	理由書	5,000
18	人間と芸術	永田 郁	9月28日(月)/3時限	10名まで	抽選	5,000
19	Global History Ⅱ	王 勁 草	9月29日(火)/2時限	若干名	理由書	5,000
20	古典文化研究Ⅱ	徳岡 涼	10月1日(木)/2時限	若干名	理由書	5,000
21	中国文化論Ⅱ	山田 俊	10月1日(木)/5時限	若干名	理由書	5,000

番号	講座名	講師名	開始日/時限	募集人数	選考方法	受講料 (円)
環境						
22	建築環境工学Ⅱ	辻原 万規彦	9月25日(金)/1時限	若干名	理由書	5,000
23	家庭機械・電気	齊藤 弘順	9月28日(月)/4時限	若干名	理由書	5,000
24	地域景観計画学	柴田 祐	10月1日(木)/2時限	若干名	理由書	5,000
25	環境設備学	栗原 広佑	10月1日(木)/3時限	若干名	理由書	5,000
建築						
26	比較住文化論	高橋 浩伸	10月1日(木)/2時限	若干名	理由書	5,000
27	建築構造の基礎	李 麗	10月1日(木)/2時限	若干名	理由書	5,000
公共						
28	憲法Ⅱ	佐藤 雄一郎	9月25日(金)/4時限	10名程度	理由書	5,000
29	現代社会と企業	山下 剛	9月29日(火)/3時限	若干名	理由書	5,000
30	生命倫理と法	江崎 一朗	9月30日(水)/3時限	若干名	理由書	5,000
31	参加協働論	澤田 道夫	10月1日(木)/2時限	若干名	抽選	5,000
情報						
32	メディア情報処理	石橋 賢	9月28日(月)/1時限	10名まで	理由書	5,000
33	情報処理基礎演習 - e	金井 貴	9月29日(火)/2時限	若干名	抽選	5,000
経済・ビジネス						
34	原価計算論	望月 信幸	9月25日(金)/2時限	若干名	理由書	5,000
35	産業組織論	井田 貴志	10月1日(木)/3時限	若干名	理由書	5,000

1 英語 VI (c)

【講師】	李世恩
【日時】	9月25日～・毎週金曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級 / 一般教養 TOEIC リーディング対策

【テキストについて】

『公式TOEIC Listening & Reading 問題集 10』(ETS(著) / 3,000円 + 税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

【注意事項】

講座番号: 2 『英語VI (d)』と同じ講義内容となりますので、どちらか1講座をお申込みください。

2 英語 VI (d)

【講師】	李世恩
【日時】	10月1日～・毎週木曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級 / 一般教養 TOEIC リーディング対策

【テキストについて】

『公式TOEIC Listening & Reading 問題集 10』(ETS(著) / 3,000円 + 税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

【注意事項】

講座番号: 1 『英語VI (c)』と同じ講義内容となりますので、どちらか1講座をお申込みください。

3 英語学概論 II

【講師】	村尾 治彦
【日時】	9月30日～・毎週水曜日 1時限目 (8:40～10:10)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級 / 専門

英語表現の意味もしくはその使用的側面に焦点をあて、認知と言語の関係を考えながら、様々な現象の背後に潜む規則性を考察していきます。認知意味論では特定の表現形式と英語母語話者の認知の仕方の関係や、日本語らしい表現、英語らしい表現を考察します。さらに言語使用の側面において、会話の含意や原則などを扱います。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100文字程度) により決定

4 Junior Seminar B - II

【講師】	萱嶋 崇
【日時】	9月30日～・毎週水曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

この授業では生成文法の枠組みのもと、英語の様々な構文を考察する。生成文法は絶えず理論が発展しており難解なイメージを持たれがちだが、ここではあまり理論に深入りせずに様々な「英文法のふしぎ」を考えていく。高校英語では触れられない英文法の知識を得たり、当たり前のルールとして教えられた英文法の背景にある原理、原則を発見することができる。

【テキストについて】

『英語の主要構文』(中村捷、金子義明[編]、研究社 / 2,800円 + 税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

抽選により決定

5 English for Global Business IV

【講師】	岡崎 紀久子	
【日時】	9月30日～・毎週水曜日 3時限目 (12:50～14:20)	
【募集人数】	若干名	【受講料】 5,000円
【講義内容】		

TOEIC Listening & Reading Test のテスト形式に倣った演習問題を解くことによって、ビジネス社会における英語を用いたコミュニケーションの基礎となる語彙・文法力を培います。また、ビジネスの現場で必要とされる情報収集力の育成に役立つ解法のストラテジーについても学びます。英検2級程度の英語力が必要です。

【テキストについて】

『Successful Keys to the TOEIC Listening and Reading Test 3』(Mark D.Stafford (著)、桐原書店 /1,800円 + 税) あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100文字程度) により決定

7 中国語発展Ⅱb

【講師】	岡村 真寿美	
【日時】	9月25日～・毎週金曜日 2時限目 (10:20～11:50)	
【募集人数】	若干名	【受講料】 5,000円
【講義内容】	中級	

中国語を1年程度学習した経験のある方向けです。

【テキストについて】

『さらなる中国語の世界 大学二年生のレベルアップ中国語』(劉国彬、清水洋子 (著)、金星堂 /2,400円 + 税) あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teams を使用する場合があります。講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100文字程度) により決定

6 中国語発展Ⅱa

【講師】	山田 俊	
【日時】	9月25日～・毎週金曜日 2時限目 (10:20～11:50)	
【募集人数】	5名まで	【受講料】 5,000円
【講義内容】	中級 / 一般教養	

中国語のエッセイの原書の翻訳を行う。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200文字程度) により決定

8 中国語基礎－b 週2回

【講師】	岡村 真寿美	
【日時】	9月25日～・毎週木・金曜日 (週2回) 1時限目 (8:40～10:10)	
【募集人数】	若干名	【受講料】 10,000円
【講義内容】	初級	

基礎的な発音と文法を半年程度学習した経験のある方向けです。

【テキストについて】

『初級中国語 この1冊 4技能習得を目指して 改訂版』(丸尾誠・勝川裕子・李軼倫 (著)、金星堂 /2,200円 + 税) あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teams を使用する場合があります。講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100文字程度) により決定

9

日本語史Ⅱ

【講師】 米谷 隆史

【日時】 9月28日～・毎週月曜日
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

日本語の音韻の歴史を学びます。録音機器による日本語音声の記録は百年程前のものがあるだけです。過去の日本語の音を知らせてくれる文献資料にはどのようなものがあるのかを理解していくことが中心となります。日本語学と日本文学史の基礎、前期開講の日本語史Ⅰの内容を理解していることを受講の前提とします。

【テキストについて】

『国語史を学ぶ人のために』(木田章義[編]、世界思想社/2,900円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書(200文字程度)により決定

10

現代日本語の分析

【講師】 小川 晋史

【日時】 9月30日～・毎週水曜日
4時限目 (14:30～16:00)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 上級/専門

日本語の分析にはどのような視点があるのか、日本語という言葉はどのような言語かを学ぶものですが、2年生以上対象の専門科目ですので、これまでに日本語学/言語学を学んだ経験が無い方は「日本語学概論Ⅰ・Ⅱ」を先に受講することを強く推奨します。

【テキストについて】

『新しい日本語学入門 ことばのしくみを考える 第2版』(庵功雄(著)、スリーエーネットワーク/2,000円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書(200文字程度)により決定

11

近代地域文化研究

【講師】 五島 慶一

【日時】 9月25日～・毎週金曜日
4時限目 (14:30～16:00)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

夏目漱石の作品を丁寧に読み解くこと、兼ねて適宜作家自身の経験的事象も視野に入れることで、中央と地方・学校制度・交通機関など、近代文学の根柢にある文化的装置・枠組について考えていきたい。

【テキストについて】

『坊っちゃん』(夏目漱石、角川文庫/480円+税) ※但し、本文が読めれば他の本でも可
『三四郎』(夏目漱石、角川文庫/450円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書(100字程度)により決定

12

近代文学史

【講師】 五島 慶一

【日時】 9月28日～・毎週月曜日
4時限目 (14:30～16:00)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

本講では、明治期を中心にほぼ時系列に沿って文学史上の幾つかの項目を追い、創作活動の背景として存在する個人及び社会的動機に関して改めて確認することで、作家や作品への理解を深める一助とする。特段の予備知識は必要ないが、内容は専門的なところにまで踏み込むことがある。

【オンラインツールについて】

一部 Microsoft Teams を使用する場合があります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

13 英語圏文学講読Ⅱ

【講師】	難波 美和子		
【日時】	9月28日～・毎週月曜日 5時限目(16:10～17:40)		
【募集人数】	2名まで	【受講料】	5,000円
【講義内容】	上級/専門		

現代の作家たちは国境のみならず言語という枠組みも食い破り、それぞれの表現を模索している。多様化し、拡大する英語使用者とともに、英語による文学が何を産み出しているのかを、現代南アジアの英語文学を例として考える。

- 1 導入：インドの英語文学の現在
- 2 大英帝国と英語
- 3・4 インドの英語文学史
- 5～7 現代インド英語文学を読む①2000年代短編小説
- 8～10 現代インド英語文学を読む②1990年代短編小説
- 11～13 インド英語文学を読む 長編小説
- 14・15 文学を批評する

【オンラインツールについて】

Google drive を使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200文字程度)により決定

14 中世文学講読

【講師】	鈴木 元		
【日時】	10月1日～・毎週木曜日 2時限目(10:20～11:50)		
【募集人数】	若干名	【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門		

室町期に全国的なうねりを見せ、多くの愛好家を生み出した「連歌」を取り上げます。集団制作の文藝であり、基本的に限定されたサークル内で制作と享受が完結する、特異な形態の文藝です。その特異な性格から、連歌は様々な藝能与交渉をもち、連歌自体も藝能的とみなされることもあります。この講義では、中近世の諸藝能との関わりから、連歌および関連資料を読んでいきます。

【選考方法】

受講希望の理由書(100字程度)により決定

15 英語文学多読入門

【講師】	吉田 希依		
【日時】	10月1日～・毎週木曜日 5時限目(16:10～17:40)		
【募集人数】	若干名	【受講料】	5,000円
【講義内容】	一般教養		

翻訳を用いて英語文学作品を多読する、英語文学の入門として位置付ける授業です。ジャンルを問わず多くの作品に触れることで、小説の読み方を学ぶにとどまらず、分野を横断して応用可能な幅広い教養を身に着けることを目指します。講義のみではなく、発表やディスカッションの機会を設けます。

【テキストについて】

『アメリカン・マスターピース 戦後篇』(柴田元幸、スイッチ・パブリッシング/2,700円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Google スプレッドシートを使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(100文字程度)により決定

16 比較文学講義Ⅱ

【講師】	難波 美和子		
【日時】	10月1日～・毎週木曜日 5時限目(16:10～17:40)		
【募集人数】	2名まで	【受講料】	5,000円
【講義内容】	上級/専門		

文学を理解することについてより深く考える方法を学ぶ。文学作品を楽しむには、戦略が必要である。読書に必要なのは感性なのだというならば、感性とは何なのか、どのようにしてそれを養うのかを問うべきだろう。言語表現への感性は、無からは生まれない。作者の仕掛ける技巧を読み解くには、文学作品が持つ意味や背景、作家の技術について知らなければならない。

本講義では、テキストの読みと解釈を通して、文学批評の概念と現代文学批評の基礎を学ぶ。知識と方法を学ぶことで、積極的・生産的読者を目指そう。

【オンラインツールについて】

Google drive を使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200文字程度)により決定

17 日本文化論Ⅱ

【講師】	羽鳥 隆英
【日時】	9月25日～・毎週金曜日 4時限目 (14:30～16:00)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	一般教養

熊本藩熊本藩細川家に由縁の元禄赤穂事件 (1701年～1703年) に取材した「忠臣蔵」の歴史を概説します。日本語を活用した文学、演劇、演芸、映画などの様々な媒体を議論の対象に設定し、「忠臣蔵」と日本社会、特に近代日本社会の相関性を議論します。

【オンラインツールについて】

予習に動画 (インターネット環境があればご視聴いただけるサイト) を活用する場合があります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

18 人間と芸術

【講師】	永田 郁
【日時】	9月28日～・毎週月曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	10名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	一般教養

本講義は「人間と芸術」というテーマのもと、人間が社会の中でいかなる芸術もしくは視覚的イメージを創造したか、また人間にとって芸術・視覚的イメージがどのように使われ、理解されてきたかについて、日本を含むアジア世界及び西洋世界の具体例を取り上げ、探っていく。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

抽選により決定

19 Global HistoryⅡ

【講師】	王 勁草
【日時】	9月29日～・毎週火曜日 2時限目 (10:20～11:50)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	一般教養

前期には、人類を結びつけるいくつかのキーワードを通して世界史について学びました。ケーススタディとして、後期にはシルクロードの歴史に焦点を当てます。シルクロードとは、紀元前2世紀から17世紀半ばまで活動していたアジアの交易路のネットワークであり、東西世界の間で経済的・文化的・政治的・宗教的な交流を促進するうえで中心的な役割を果たしました。※この授業は英語で行われます。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100字程度) により決定

20 古典文化研究Ⅱ

【講師】	徳岡 涼
【日時】	10月1日～・毎週木曜日 2時限目 (10:20～11:50)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級/専門

「枕草子」の描かれた時代背景や清少納言の事、主人定子、および道隆一族のことなどをまずは押さえます。そのうえで、著名な段を日記的章段 (後宮で交わされる清少納言と公達との機転の効いたやり取り、定子の知性を感じさせるエピソード) を中心に解説します。最も納得のいく解釈を示していきます。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100字程度) により決定

21 中国文化論Ⅱ

【講師】山田 俊

【日時】10月1日～・毎週木曜日
5時限目(16:10～17:40)

【募集人数】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】一般教養

中国の様々な文化の概論と、それらを調べる際のノウハウについての講義

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200文字程度)により決定

22 建築環境工学Ⅱ

【講師】辻原 万規彦

【日時】9月25日～・毎週金曜日
1時限目(8:40～10:10)

【募集人数】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】専門

建築環境工学のうち、空気環境、光環境、音環境に関する基礎事項を平易に解説する予定です。知識だけにとどまらず、ものの見方や考え方も学べることを目指します。理解を深められるようにできるだけ毎回演習問題を出題する予定です。関数電卓が必要です。高校卒業程度の数学、物理の知識があることを前提とします。

【テキストについて】

『図説 やさしい建築環境(第4版第2刷 2024年3月発行)』(今村仁美・田中美都(著)、学芸出版社/2,800円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teamsを使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

23 家庭機械・電気

【講師】齊藤 弘順

【日時】9月28日～・毎週月曜日
4時限目(14:30～16:00)

【募集人数】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】一般教養

石油資源枯渇や地球温暖化などエネルギー・環境問題は、市民生活レベルでの対策も迫られています。賢く省エネ・環境負荷低減生活を送るために家電製品の動作原理を理解することが本講義の目的です。衣食住の観点から家電製品の動作原理を解説しますが、ユーザー視点での講義故、必要となる基礎知識は中学校の理科程度です。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(100字程度)により決定

24 地域景観計画学

【講師】柴田 祐

【日時】10月1日～・毎週木曜日
2時限目(10:20～11:50)

【募集人数】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】専門

景観の概念、景観形成の視点、まち並みと農村景観の構成要素、景観施策、景観まちづくりなどについて、全国各地の具体的な事例を通して学び、地域景観は、景観を構成する様々な要素と、そこでの人々の生活との関わりの中から成立していることを理解する。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

25 環境設備学

【講師】	栗原 広佑
【日時】	10月1日～・毎週木曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

人間が快適かつ健康に生活するために欠かせない熱・空気環境と水環境をコントロールするための建築設備の概要について解説します。また、建築設備の運用に関する省エネルギー化や自然エネルギーの活用といった環境共生手法についても解説を行います。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100字程度) により決定

27 建築構造の基礎

【講師】	李 麗
【日時】	10月1日～・毎週木曜日 2時限目 (10:20～11:50)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

建築構造に関する基本的な事項を学ぶ。構造の種類・形式、構造物の安定・不安定/静定・不静定の判定、荷重の種類、力の合力・分力、反力、応力、片持ち梁・単純梁の反力、応力の求め方および応力図の描き方などについて講じる。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

26 比較住文化論

【講師】	高橋 浩伸
【日時】	10月1日～・毎週木曜日 2時限目 (10:20～11:50)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	初級/専門

住居の形を規定する要因として、気候や地形、生業形態、建築材料、家族や社会組織、それに信仰体系や宇宙観・世界観等があり、実に多様な形態が世界中に見られる。そこで、これらの要因によって我々人類は、どのように住まい、どのように住文化を形成してきたのかを世界各地に求め、その地域独自のヴァナキュラーな住居史を総覧し、日本の住文化との比較を行い、今後の住空間の在り方を考える。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100字程度) により決定

28 憲法Ⅱ

【講師】	佐藤 雄一郎
【日時】	9月25日～・毎週金曜日 4時限目 (14:30～16:00)
【募集人数】	10名程度
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

日本国憲法が定める統治機構の仕組みの内容や問題点 (具体的には国会・内閣・財政・地方自治・天皇制・平和主義・裁判所) を、条文と判例そして学説を基にして明らかにしていく講義である。

【選考方法】

受講希望の理由書 (300字程度) により決定

29 現代社会と企業

【講師】 山下 剛

【日時】 9月29日～・毎週火曜日
3時限目(12:50～14:20)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 一般教養

現代社会は「企業社会」とも呼ばれます。それだけ、企業は現代社会においてそれなしでは成り立たない、大きな存在となっています。現代社会に生きる人々は、一生を通じて、消費者・生活者・労働者として何らかの形で企業と関わっていかざるをえません。この意味で、企業の経営、企業がどのように運営されるかという問題は、単に企業の経営者だけでなく、企業に関わるすべての人にとっての問題となっているのが現代社会です。本講義の狙いは、企業が現代社会をどのようにして築いてきたか、築きつつあるか、また、逆に、企業は社会の影響を受けてどのように運営されているかを考えていくこと、この意味で、現代社会と企業について考えていくことにあります。

【テキストについて】

『日本企業論 企業社会の経営学 第2版』(勝部伸夫、文眞堂/2,700円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参すること。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(100字程度)により決定

30 生命倫理と法

【講師】 江崎 一郎

【日時】 9月30日～・毎週水曜日
3時限目(12:50～14:20)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 一般教養

テーマ「いのちを考える」

『生命倫理学を学ぶ人のために』を解説することを通じて、生命倫理における多様な問題について考察する。受講生の理解度や要望、講義の進捗状況等により適宜、変更します。学外の研究者による特別講義も予定しています。

【テキストについて】

『生命倫理学を学ぶ人のために』(加藤尚武・加茂直樹 編、世界思想社/2,300円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参すること。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teamsを使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(文字数は問わず)により決定

31 参加協働論

【講師】 澤田 道夫

【日時】 10月1日～・毎週木曜日
2時限目(10:20～11:50)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

協働とは、人と人との相互作用を通して社会の目標を達成していくシステムです。国や県、市町村などが行う様々な行政活動に人びとが参加し、行政と力を合わせていくことで、より良い地域を作り上げていくことが可能となります。この授業では、地域づくりにおける協働の持つ意義について理解を深めることを目標とします。

【テキストについて】

『真・自治行政構想の奇跡』(荒木昭次郎・澤田道夫、敬文堂/2,600円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

抽選により決定

32 メディア情報処理

【講師】 石橋 賢

【日時】 9月28日～・毎週月曜日
1時限目(8:40～10:10)

【募集人数】 10名まで 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

近年の情報社会では、画像・映像・音声・テキストなど多様なメディア情報がネットワークを通じて流通している。本授業では、画像処理、CG、HCI、XR、音声・言語メディアなどの情報メディア技術を学ぶ。また、AIによるメディア生成やメディアデザインなど、最新技術とその社会応用について理解し、情報メディア技術を統合的に捉える力を養う。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teamsを使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200文字程度)により決定

33 情報処理基礎演習-e

【講師】 金井 貴

【日時】 9月29日～・毎週火曜日
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

本講義では膨大な情報を効率的に扱う方法として、データ分析とプログラミングの初歩について学ぶ。データ分析では、表計算ソフト Microsoft Excel を用いた演習を通し、データの可視化と統計分析手法の基本について学ぶ。プログラミングにおいては、視覚的に学ぶことが可能なグラフィカルなプログラミング開発環境を用いて、基本三構造（順次処理・条件分岐・繰り返し）に関する知識の習得を目指す。

【テキストについて】

『Scratch で学ぶ プログラミングとアルゴリズムの基本 改訂第2版』（中植 正剛、太田 和志、鴨谷 真知子（著）、日経 BP/2,300円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teams を使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

抽選により決定

34 原価計算論

【講師】 望月 信幸

【日時】 9月25日～・毎週金曜日
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

本講義では、原価計算の意義および目的を理解し、原価計算の理論的アプローチおよび計算手法について学びます。具体的には費目別計算から総合原価計算までの原価計算理論を学ぶことに加え、全経2級工業簿記、さらには日商2級工業簿記の基礎知識習得を目標とします。なお、講義の中で計算を行うことが多いため、毎回必ず計算用具を準備してください。

【テキストについて】

『テキスト原価会計 第3版』（高橋賢、中央経済社/2,300円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200文字程度）により決定

35 産業組織論

【講師】 井田 貴志

【日時】 10月1日～・毎週木曜日
3時限目 (12:50～14:20)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

不完全競争市場やゲーム理論を用いながら、市場構造、企業戦略、政策制度などについて、理論的に考察を進める。

【テキストについて】

『産業組織論への招待』（西村淳一・山内勇（著）、新世社/2,700円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（300文字程度）により決定

〈 申込みにあたっての注意事項 〉

- 1 本申込書は1枚1講座分でご記入ください。複数講座お申込みされる場合は、講座毎に申込書をご記入ください。この場合、2講座目以降の申込書は「氏名」、「申込枚数」、「合計講座数」、「受講希望講座」欄の記入のみで構いません。
- 2 「理由書」により受講者選定を行う講座は、指定の文字数を確認のうえ、希望理由を記入してください。なお、枠内に入りきらない場合は、別紙（様式任意）に記入し、申込書に添付して提出ください。
- 3 開講する曜日と時限が同じである講座を、重複して申し込むことはできません。
- 4 募集締切後の講座のお申し込み、変更は一切お受けできません。
- 5 決定通知後の取り消しは、お受けできません。
- 6 受講料は、受講手続・説明会にご参加いただき、現金でお支払いいただきます。また、お支払いいただいた受講料は返金いたしませんので、あらかじめご了承ください。（本学都合の場合は除く）
- 7 学生の受講が少ないなどの理由により開講中止となる場合があります。その場合は、お支払いいただいた受講料は返金いたします。
- 8 お申込みの際にご提供いただいた個人情報については、個人情報の保護に関する法律に基づいて適正に管理を行います。

施設紹介

講座で学んだ内容をさらに深めるために、キャンパス内の施設がサポートします。



① 図書館

専門書を中心に約 38 万冊の図書・雑誌を収蔵しており、自由に利用することができます。また、1～3 階の開架書庫・閲覧スペースには 360 の閲覧席を設けており、ゆとりをもって快適に学習できる環境を提供しています。

そのほか、1 階に国内外の主要紙を配置した新聞コーナー、学術雑誌を閲覧できる雑誌コーナーなども設けています。

館内の図書は、各階に備えている専門の端末機で検索することができます。

開館時間 平日 8:40～21:40 (夏季休業日 8:40～20:40)

土曜日 8:40～19:00 (夏季休業日 8:40～18:00)

休館日 日曜・祝日・開学記念日・年末年始等

(その他臨時休館日等は本学図書館ホームページでお知らせします)

② 熊本県立大学アーカイブ (図書館 2 階)

学内外の方々に幅広く熊本県立大学への理解・関心を深めていただく趣旨で、女子大当時の学術資料、写真、看板等を常時展示し、図書館を訪れる方々にご紹介しています。



くまモン! Pay ラウンジ (学生食堂)

カフェテリアスタイルで、ガラス張りの吹き抜けになっている明るい学食です。

人気メニューは、日替わりのランチやカレーです。

(11:00～13:45 ごろ)

くまモン! Pay ラウンジ 2F (売店)

授業で使用するテキストや書籍、文具、事務用品の販売はもちろん、有料のコピー機なども設置しています。





地域・研究連携センターについて

熊本県立大学では、平成 18 年度の独立行政法人化にあわせ、地域との連携をより強化し、地域貢献の取り組みを充実していくことを目的として、地域・研究連携センターを設置しています。

地域・研究連携センターは、本学の教育研究資源を地域に繋ぐコーディネート機能や、授業公開講座・各種公開講座の開催や、職業人の学び直しとして、CPD プログラム (Continuing Professional Development 継続的専門職能開発) など大学ならではの学びの場を地域に提供する役割を担うとともに、大学の研究力の向上に務め、「地域とともに生きる」熊本県立大学の地域貢献を推進します。

学内配置図

グローバル棟 1 階
地域・研究連携センター
 Tel 096-321-6612





熊本県立大学
Prefectural University of Kumamoto

受講料無料
YouTubeで
受講できます

令和8年度(2026年度)

くまもと バーチャルキャンパス

KUMAMOTO VIRTUAL CAMPAS

令和8年10月1日(木) ~ 令和9年1月31日(日)

熊本の「今」と「これから」について考える、全4回のオンラインの無料公開講座です。
災害からの復興をはじめとする地域の課題や、文化・歴史・自然といった熊本の魅力を、
未来につなぐ視点でお伝えします。

受講方法

YouTubeを利用したオンデマンド配信を、ご自身のPCやスマートフォンなどで
視聴していただけます。各講座の配信開始以降は、期間中であればいつでも
受講できます。

受講要件

- ・高校生以上であること
- ・受講規約(ホームページ上に公開)に同意すること
- ・個人のEメールアドレスを有すること

7月18日から掲載!



申込方法

Webサイト「地域ラブラトリー」の募集ページに掲載している応募フォームから
お申込みください。

申込期間

令和8年7月18日(土) ~ 令和8年10月30日(土)

定員

先着300名

熊本県立大学 地域・研究連携センター

E-mail : puk-renkei@pu-kumamoto.ac.jp
TEL : 096-321-6612 (平日 9:00~16:00)

受講料
無料

各種公開講座

今年もさまざまなテーマで、受講料無料の公開講座を開講します。
1つでもご興味があれば、ぜひお申込みください！
募集は、順次「地域ラブラトリー」HPで行います。

多彩なテーマで
開講予定！

※実施や内容・時期などは
変更になる場合があります

8月

環境共生学部
居住環境学専攻
高橋研究室
建築作品展

8月29日

肥後古流小堀家13代
小堀泉順(俊夫)氏
講演会

10月

歴史文芸と地域社会
：過去と未来

地域と映像学を結ぶ
研究成果報告会と
公開講演会

10月～11月

書誌学を知らずして
書を語る勿れ

書誌学をテーマにした
全2回の公開講演会

10月～11月

秀吉・秀長の時代
——乱世と太平のはざまに

秀吉・秀長の時代をテーマ
にした全3回の特別講座

11月

日々の食事で実践する
スポーツ栄養学

スポーツ栄養学
に関する特別講座

11月

熊本地震からの
復興を考える
環境フォーラム

募集を始めたら
地域ラブラトリーHPで
お知らせします



県大と地域をつなぐwebサイト

／ 新しい情報を更新中 ／

授業以外の大学の活動を紹介しています。
あなたの、地域の「さがしもの」が見つかるかもしれません。

発見
したい

熊本の“お役に立ちたい”研究室です。

地域
ラブラトリー
Kumamoto

熊本県立大学
Prefectural University of Kumamoto

学び
足したい

事業化
したい

学び
直したい

立案
したい

作り
たいたい

<https://puk-loveratory.com>

地域ラブラトリー

~ MEMO ~

A series of horizontal dotted lines for writing.



お問い合わせ先

熊本県立大学 地域・研究連携センター (グローバル棟1階)
〒862-8502 熊本県熊本市東区月出3丁目1番100号
TEL.096(321)6612
E-Mail renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp

